

●事業仕分

.....
昨年の流行語大賞は「政権交代」だそうだが、その結果の一つとしての「事業仕分」の方が印象に残っている方も多いと思う。これまでの自民党行政の積み重ねを突き崩すイベントでもあったが、長期的視点に欠ける判定も多かったようだ。

過日、S市アドバイザーの今井氏と、S市が都市計画道路の見直しを行っているという話題になった。周知のように、全国の都市計画道路は1970年前後にいわゆる都市計画新法に合わせて一斉に決定されたが、その整備率はまだ50%台にすぎない。また当時は人口や自動車交通量の増加を前提に計画されたものである。

ところが40年を経た現在、人口減少、高齢化、自動車交通量の減少といった全く逆の時代環境になっている。また財政力も低下し、都市計画道路の整備はますます厳しくなっており、いつ整備されるかわからない計画のまま行政指導せざるをえず、行政の負担にもなっている。そこで思いきって「計画仕分」を行っただろうだろうか。

勿論、時代環境に沿った都市像やコンパクトシティといった方向性を踏まえ、総合的な交通体系を検討して、長期的視点に立った「仕分」でなければならぬことは言うまでもない。

堀田紘之（技術顧問）

●深夜のタクシーに驚き

.....
昨年からは都内某繁華街等においてタクシー関連の調査業務を行っている。調査項目は複数有るが、各地区についてタクシーの客待ち滞留長の調査を実施している。ある地区では最大滞留長が1.5kmを超えて隣の駅まで達しており驚かされた。

また、別の地区では乗り場から延びた滞留長が複雑に交差し、道路一帯をタクシーが埋め尽くしている状態の時もある。実はこの地区のタクシー渋滞が深刻な問題となっており、本業務もこの問題の改善策検討が最大のテーマである。

これまでも「深夜のあの地区はタクシー渋滞が激しいなあ」と漠然と思っていたが、より詳細に状況を見ていると重大な事故が起きないのが不思議なくらいである。とにかくタクシーの信号無視が激しい。少しでも早く乗り場に到着して客を乗せたい気持ちは分かるが、あそこまでの信号無視の横行は目を疑う。

昨晩も目前で接触事故が発生した。本業務における改善策によりこの問題を解消し、それまでに犠牲者が出不いことを祈るばかりである。

野澤雅一（第一計画部）

●世界遺産への旅・ベトナム中部とダナン市

.....
ベトナムのダナン市をご存じでしょうか。最近ではASEAN外相会議の開催地として耳にしたことがあるかもしれません。ハノイ市・ホーチミン市からそれぞれ760km・960km離れているベトナム第4の都市ですが、これまでその存在はあまり知られていませんでした。あるいはベトナム戦争を知っている世代であれば、米軍基地のイメージが強い街として認識されています。しかしながら、最近ではベトナムにある5つのうち4つの世界遺産が集積しているベトナム中部の中心都市として注目され始めています。

4つの世界遺産を北から列挙すると、まずは4億年以上前にできたとされるアジア最古かつ世界最大の岩山が集まる「フォンニャ＝ケバン国立公園」。19世紀に阮朝の都が置かれた「フエの建造物群」。中国人街を中心に古い建築が残り、日本とは朱印船貿易で縁のある「ホイアンの古い街並み」。さらに南には古くは7世紀からのヒンズー教の遺構が残る「ミーソン聖域」があります。

先号で紹介された新幹線の記事にもあるとおり、ハノイ市およびホーチミン市の南北両極が目覚ましい経済成長を遂げている一方で、ベトナム全土の発展のためには、その他の中小都市の成長促進が求められています。

ダナン市は上に紹介した4つの世界遺産の中心に位置しており、市内にアクセ

スの良い国際空港、また美しい山や海岸を擁していることから、観光地域として優れたポテンシャルを持っています。今後こういったハノイ・ホーチミンとは異なる新しい価値や魅力を提供することで、それを通じて地域が連携し、ダナン市がベトナム中部地域の一体的な開発、さらにはベトナム全土の均衡ある成長を牽引することが望まれています。

新井裕子（海外室）

発行責任者：代表取締役 庄山 高司
事務局：株式会社アルメック 業務部
東京都目黒区青葉台 1-19-14
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210
Eメール hotnews@almec.co.jp
ホームページ <http://www.almec.co.jp/>

Copyright 2010 ALMEC Corporation. All rights reserved.